各戸配布

川路まちづくり役員会便り　第２８号

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！　２０２２年（令和４年）６月１日

５月 22 日に「天竜川上流総合水防演習」が行われました。国土交通省の山田事務次官や阿部長野県知事をお迎えし、参加者総勢 1000 人の大規模な演習となりました。国土交通省中部地方整備局の主催で、毎年中部地方の５県で順番に実施し、川路では９年ぶりの実施となりました。地元からは飯田市消防団、川路水防組合やかわらんべ講座受講生 52 名が参加し、土嚢作り訓練等を実施しました。又、４月 27 日に４区の皆さんと「グループホームあやめ」、「ハートヒル川路」の皆さんにご協力いただき、作成された避難訓練のビデオが大型スクリーンで見事に映し出されました。訓練のために造成された堤防では、堤防からの漏水を想定し、「月の輪工」と呼ばれる水防工法や「シート張り工」と呼ばれる水防工法が実践さながらに消防関係者により実施されました。9 時に開始し、12 時過ぎまで分刻みのスケジュールでしたが、参加者は終始きびきびと行動し、有事の際には大変頼もしく思える訓練内容でした。36 災から 61 年が経ち、36 災の洪水と同じレベルの土盛り対策が実施され、川路は安全と考えておられる方もいますが、昨今の温暖化による線状降水帯では想定外の降雨量となります。美和ダムの土砂バイパストンネルの完成により川路地区への流入土砂は増える傾向にあり、川路は決して安全とは言えない事態になっております。今回の演習を機に、川路の水害に対する危機意識を高めて天竜川の浚渫を更に積極的に取り組む等の具体的な対策に注力して参りたいと考えます。

大型スクリーンに映る山田事務次官

訓練用に造成された堤防で演習をする参加者

かわらんべ講座受講生 52 名による土嚢拵え訓練

「川路水害予防の日」がやって来ます！

川路地区では、６月 27 日を「川路水害予防の日」と定めました。そこで、６月 26 日(日)に第１回目の「川路水害避難訓練」を実施します。9 時に「天龍峡姑射橋付近の水位が６時間後に 20ｍを超えるとの予想」により飯田市危機管理課から避難指示が出る想定で行います。まちづくりでは自主防災組織を招集し、各区に避難指示を伝達します。各区ではその指示を受け、区独自の防災組織を招集し、「率先安全避難者」である伍長の皆さんに隣組全員に避難するよう伝達していただきます。実際の訓練では避難行動はせず、「避難指示があった場合それぞれのお宅の避難行動を具体的にどうするか？」について伍長さんと話し合っていただきます。その結果をまとめ、区本部に連絡し、各区の状況を本部で把握することを計画しております。細部は区毎に計画を練っておりますので、区からの訓練詳細計画の説明をお待ちください。ご協力を宜しくお願い致します。

まちづくり委員会　令和４年度計画

４月 24 日のまちづくり委員会総会は、コロナのため急きょ中止となりましたが、代わりに５月 10 日のまちづくり委員会の役員会で説明していただきました。今村会長の説明を前回（令和３年度報告）と今回の役員会便り（令和４年度計画）でご報告致します。

＜令和４年度の事業計画　今村会長説明骨子＞

今年度の事業計画をご説明いたします。私は、令和３年と４年度を１つのスパンで考えていますので、３年度から大きく変わるところはありません。基本目標実現のための９つの取り組みは、まちづくりのルーチンワークであります。ただ、昨年制定した「川路水害予防の日」を防災・減災を見据えて如何に実りある記念日にしていくかが求められます。今年は天竜川上流大規模水防演習が５月 22 日に行われますので、それに合わせた形で避難訓練を実施したいと考えています。特別委員会の事業ですが、一昨年から進めてきた土地利用計画の中の里山整備は里山管理組合の設立という形で皆さんにお示しできると思います。こうした議論を包括した第２次川路基本構想の策定も進んでいますので、今年度後半には概要を皆さんに提示して議論していただきたいと考えています。今年、小学校が創立 150 年になり、10 月 22 日に記念式典が行われる予定です。まちづくり委員会としてもこの事業に協賛して参ります。今年も川路に新しく家を建てて入って来られる方がいらっしゃると思いますが、そうした方で組合に入って私たちと一緒に活動をしていただける方に、庭木を１本プレゼントする事業を始めたいと思います。土地利用計画の中で議論している住環境に配慮するとともに、安らかな気持ちで生活していただこうという思いです。苗木の種類は検討中です。

また、「川路の宝写真コンテスト」を行います。これは、川路の住民である私たちが改めて自分たちの地域を見直そうという思いで企画しました。風景や人、物、何でも結構です。これぞ川路の宝だという写真を送っていただき、それを元に来年のカレンダーを作ろうと思います。近々応募要領を皆様にお示しいたします。

もう１つ、川路を良く知ってもらう企画として天龍峡十勝を下から眺めてみようと思います。新緑、盛夏、秋の紅葉の時期の３回、ライン下りの協力で船を出します。

まちづくりの事業をどのように継続するか、今年度も研究を重ね、できるところから実践して参ります。また将来の備えとして経費の見直しも欠かせないものと考えています。皆さんの任期は今年度で切れますが、これまで積み上げてきたものを、また１から始めるとしたら、そのエネルギーは大変なものです。次に繋げるためにはどうしたら良いか、皆さんも自分のこととして考えてください。

今年もコロナの影響は続くものと覚悟しています。しかし、やるべきことはやって行かないと、物事は前に進みません。もちろん感染対策には十分な注意を払いながら、勇気をもって事業を実行して行きたいと思います。皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

楽しい田植え体験とどろんこ遊び！

５月 26 日に川路保育園の子どもたちの田植えが、５区の田んぼ（28m道路沿い）でありました。２区の関島晟さんが管理している田んぼで、今年で 18 年目の田植え体験だそうです。42 人の子どもたちが参加し、年長さん 15 人が田植えに挑戦。どろんこに足をとられたりして尻もちをついたりしながらも、楽しく田植えが出来ました。又その後ろで、年少・年中の子たちは大騒ぎで泥遊びを楽しんでいました。秋に収穫されたお米の一部は国際協力田運動の支援米としてアフリカのマリ共和国へ送られるそうです。

川路保育園の田植え体験